



東日本大震災 復興支援活動

活動レポート

1. 関係機関からのサポート等
2. JFA 復興支援活動
 - 1) 競技会関連活動
 - 2) 物資支援
 - 3) サッカー教室
 - 4) フェスティバル支援
 - 5) トレセン支援ほか
 - 6) サッカー施設 新設・改修
 - 7) 被災地特例(登録料免除等)
3. その他

2012年4月2日

公益財団法人日本サッカー協会

1. 関係機関からのサポート等

活動実績

◆FIFA からの支援

・640 万ドルの財政支援

(内訳)

①450 万ドルの Financial Support

②190 万ドルの Goal Project 資金

※計 640 万ドルの両資金は、被災した施設の改修や被災地における新たな施設の整備に使用されることを前提に提供される。なお、これらの資金は、JFA 発注のもと行われた事業の経費を、工事終了後、FIFA がその代金を負担するかたちで提供される。

・アディダス本社への働きかけによるサッカー物資支援

(内訳)

①サッカーボール 15,000 個

②サッカーウェア 15,000 着(ジャージ、パンツ、ソックス等)

※これらの物資は 11 月中旬、貨物船輸送にて到着。

【FIFA 支援物資、被災 3 協会へ発送】

上記 FIFA 支援物資は、岩手・宮城・福島の 3 協会に対して提供。また、12/10 に MFA 松島フットボールセンターをブラッター FIFA 会長が訪れ、被災した子どもたちに直接支援物資を手渡した。



◆UEFA からの支援

・50 万ユーロの財政支援

※クラブワールドカップの開催期間中の 12/16、UEFA 支援金の贈呈式をリッツカールトン東京にて開催。この財源は、サッカー施設の新設・改修に充当予定。



◆アディダスジャパンからの支援

・サッカーグッズの提供

(内訳)

①サッカーシューズ約 15,000 足

②代表レプリカ(シャツ、パンツ、ソックス等)約 13,000 点

【アディダス支援物資、被災地へ発送】

(被災チーム直送)

10 月中旬、アディダスジャパン提供のスパイク・代表レプリカ(ジャージ)を、岩手、宮城、福島の被災エリアを中心に活動する 140 チームに対し提供。提供したスパイク総数は 6,536 足、代表レプリカ(ジャージ)は 3,268 着。小倉会長からのメッセージ文に加え、JFA90 周年記念誌を併せて発送(発送先は 5 頁を参照)。

(被災 5 協会へ提供)

11 月、アディダスジャパン提供の代表レプリカ約 10,000 点を青森・岩手・福島・宮城・茨城の 5 協会に対して提供。



1. 関係機関からのサポート等

活動実績

◆KIRIN グループからの支援

- ・サッカーファミリー復興支援金(JFA)への1億円の寄付
 - ①5,000万円をサッカー施設の新設・改修に使用予定
 - ②5,000万円をその他のJFA復興支援活動に使用予定
- ・被災県サッカー協会への活動資金寄付
 - ①岩手・宮城・福島FAに各1,000万円
 - ②青森・茨城FAに各500万円
- ・JFA・KIRIN スマイルフィールドの実施
元日本代表によるサッカー教室で、2011年から2013年までの3年間の実施を想定し、岩手・宮城・福島県内の全ての小学校を対象として実施。2012年3月末時点で84校12,096名が参加(実施場所は6・7頁を参照)。



◆J-league による復興支援活動

- ・Jリーグ・Jクラブによる義援金活動
日本赤十字社への約5億1,700万円寄付。その他へ約9,300万円寄附。
- ・Jリーグから被災Jクラブへの支援
ベガルタ仙台に2,000万円、鹿島アントラーズに2,000万円、水戸ホーリーホックに1,000万円をそれぞれ、Jリーグから被災Jクラブへ支援。
- ・その他、各Jクラブ単位で、被災地訪問、スタジアム招待等を実施。



◆サッカーファミリーからの支援

【日本赤十字社への義援金募金】

震災直後の3/16、「東日本大震災 義援金口座」(日本赤十字社向け)を開設。同内容をJFAの公式WEBサイトにも掲載し、義援金募金を開始。

| | |
|------------------|--------------------------|
| 皆様からの寄付額 | 85,218,830円(約1,100件) |
| 3.29 チャリティーマッチより | 160,955,364円 |
| FCWC 関連 | 15,243,508円 |
| (合計) | 261,417,702円(2012年3月末時点) |

※うち、218,211千円を2011年8月5日に一次振込を行った。



【サッカーファミリー復興支援金募金】

4/16、上記の義援金とは別に、被災地におけるサッカー環境を取り戻すことを目的とした「サッカーファミリー復興支援金口座」を開設。

| | |
|------------------|--------------------------------|
| 皆様からの寄付額 | 36,921,488円 |
| 3.29 チャリティーマッチより | 50,000,000円(日本代表 vs J選抜) |
| 6.18 チャリティーマッチより | 4,090,000円(なでしこジャパン vs 韓国女子代表) |



| | |
|------------------|-------------------------------------|
| 8.19 チャリティーマッチより | 12,000,000 円(なでしこジャパン vs なでしこリーグ選抜) |
| チャリティーオークション | 15,391,416 円 |
| (合計) | 118,402,904 円(2012 年 3 月末時点) |

【物資支援】

上記募金活動の他、サッカー用品を中心とした支援物資を、都道府県協会を通じて JFA に提供頂く。また、プーマジャパン(約 1900 点)、アンブロ他、関係団体からも多くのサッカー用品の提供を受ける。サッカー用品は岩手・宮城・福島の3協会を中心に発送。



2. JFA 復興支援活動 1) 競技会関連

活動実績

◆チャリティーマッチ

- ・3/29 チャリティーマッチ「がんばろうニッポン！日本代表 vs Jリーグ選抜」
(大阪長居スタジアム、動員 40,613 人)
試合の収益金その他、募金活動 22,317 千円、物販収益 33,891 千円、チャリティーオークション(88 点を出品)44,751 千円の合計で、約 2 億 1,000 万円の資金が集まり、その内 1 億 6,000 万円を日本赤十字社に寄付、5,000 万円を「サッカーファミリー復興支援金」に充当した。
- ・6/18 国際親善試合なでしこジャパン(日本女子代表)対韓国女子代表
(愛媛ニンジニアスタジアム、動員 4,202 人)
チケット収入 4,090,000 円を「サッカーファミリー復興支援金」へ。その他、なでしこジャパン「楓」Tシャツ発売(162 枚販売)、募金活動、チャリティーオークションを実施。サイン入りユニフォーム、グッズ等、合計 11 点出品。
- ・8/19 チャリティーマッチがんばろうニッポン！
なでしこジャパン(日本女子代表)VS なでしこリーグ選抜
7/22～31FIFA女子ワールドカップ関連なでしこジャパン・グッズオークションを併せて実施。34 品出品。



◆競技会・募金活動等

- 5/3 PUMACUP2011 東日本大震災復興支援チャリティーフットサルデー
(東京・駒沢オリンピック公園総合運動場体育館)
※募金活動・支援物資の収集を実施。その他、募金活動をKCS(6/1 新潟、6/4 松本、6/7 横浜)、なでしこ(6/18 松山)、U22(6/19 豊田)、フットサル(6/11 名古屋、6/14 代々木)他でも実施。



◆被災者招待(キリンカップ 2011)

- 6/1 SAMURAI BLUE(日本代表)対ペルー代表(新潟)
※募金活動の実施、被災者招待(児童 170 名、引率 157 名)
- 6/4 ペルー代表対チェコ代表(松本)
※募金活動の実施、バナーの掲示等
- 6/7 SAMURAI BLUE(日本代表)対チェコ代表(横浜)
※募金活動の実施(JFA 職員他)、被災者招待(児童 92 名、引率 84 名)



◆パブリックビューイング(キリンカップ 2011)への協力

- 6/7 キリンビール/キリンビバレッジ/宮城県サッカー協会/岩手県サッカー



協会／福島県サッカー協会の協力でパブリックビューイングを実施。

- ①岩手県シーバル大船渡市民体育館前 約 50 名観戦
- ②宮城県石巻小学校校庭 約 300 名観戦
- ③宮城県六郷中学校 約 300 名観戦
- ④宮城県山元町山下中学校体育館 約 130 名観戦
- ⑤福島県福島ビッグパレット 約 300 名観戦

がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 2) 物資支援

活動実績

◆緊急物資搬送／被災地訪問

- ・3/23-24 福島
福島県知事、広野町・楡葉町・富岡町、福島 FA との打合せ、支援物資搬送（ブランケット他）
- ・3/25 宮城他
支援物資搬送（衣類他、生活必需品）
- ・3/30 福島
福島県知事、教育委員会、富岡高校との打合せ
- ・4/5～4/6 岩手県サッカー協会他
支援物資搬送（衣類他、生活必需品）
- ・4/15-16 宮城
東北 FA・宮城 FA 審判委員長、東北1級審判員ヒアリング、支援物資搬送（ジャージ他）
- ・4/29-30 岩手
支援物資搬送（衣類、靴、衛生用品他）
- ・5/27 福島
文房具ほか

◆サッカーグッズ(ボール、バッグ、ミニゴール等)の提供

- 4/30 岩手県サッカー協会(被災地の子どもたちへ)
※サッカーボール 150 個／ミニゴール 10 セット
- 5/15 宮城県サッカー協会(被災地の子どもたちへ)
※サッカーボール 300 個／ミニゴール 10 セット
- 6/11-12 第 35 回 全日本少年サッカー福島県大会
※26 被災チームに各 5 個(計 130 個)のサッカーボール贈呈

◆物資提供(岡田武史サッカー教室)

- 5/28(宮城)、5/29(岩手)、6/4(宮城/石巻市)、6/5(宮城/気仙沼市)、
6/20(岩手/大船渡市)
- ※サッカーボール 50 個／ボールバッグ 5 個／ひざ掛け 1,000 枚

◆物資提供(キリンカップ・パブリックビューイング)

- 6/7 ひざ掛け 1,000 枚×5 会場



◆各種サッカー教室等への物資後方支援

6/26 津波復興支援サッカー教室 岩手県宮古市河南中学校

(松木安太郎、平瀬智行、セルジオ越後)

※サッカーボール、ポップアップゴール

7/2 名取市・サッカー教室(北澤豪)※サッカーボール 80 球

7/23 相馬市・サッカー教室(中西哲生)※エナメルバッグ 120 個

がんばろう  ニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 2) 物資支援

活動実績

◆チームユニフォームの提供

岩手、宮城、福島の被災エリアを中心に活動する 94 チームに対し、合計 1965 着のチームユニフォームを提供。10 月末段階で下記 94 チームに発送済み。

◆ダウンコート、ジャージの被災クラブ等への提供

冬を迎える被災地のサッカーファミリーに対して、各 3,500 点のダウンコート、ジャージ(上下セット)を準備。2011 年 12 月下旬に被災 140 チームを中心に提供。



【チームユニフォーム、スパイク、ダウンコート、ジャージ(上下セット)提供先チーム】

■チームユニフォーム

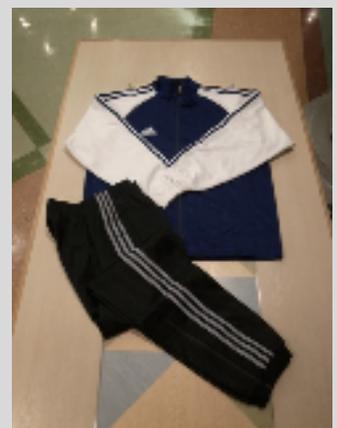
【岩手県】陸前高田市立第一中学校、FC 宮古デルファイレ田老、FC ハリハリ高田、FC 宮古フェニックス、FC 釜石 U-12、FC 田老、宮古野武士 FC、宮古南高等学校サッカー部、田老一中サッカー部、花輪サッカー少年団、河市中学校、大槌町役場サッカー部、釜石市役所、大槌サッカークラブ、大船渡中学校サッカー部、久慈クラブ、釜石中学校、甲子中学校、釜石東中学校、FC 釜石 U-15、新鐵物流釜石、高田フットボールクラブ、高田サッカークラブ、FC 山田ヴェルエニ、山田町役場サッカー部、FC ハリハリ大作戦、大槌サッカークラブ・ジュニア、大船渡サッカークラブ、大船渡三陸 FC、大船渡東高校サッカー部、大船渡マスターズ FC、大船渡三陸 FC ドルフィン、大船渡第一中学校、大船渡市立赤崎中学校、FC サン・アルタス大船渡、大船渡三陸 FC シーガル、山田高等学校、山田中学校、大槌中学校(計 39 チーム)

【宮城県】NARUNO FC、気仙沼中学校、FC レアル、IJC ユナイテッド FC、玉浦サッカースポーツ少年団、石巻市立女子商業高等学校、わたりサッカークラブ、石巻市立山下中学校、気仙沼市立大谷中学校、亙理町役場サッカー部、石巻西高校サッカー部、宮城県水産高等学校サッカー部、FC 大谷スポーツ少年団、塩コンプ、南三陸町立歌津中学校、石巻サンファン、七ヶ浜町役場、クラブイレブン、宮城県農業高等学校、釜サッカースポーツ少年団、七郷クラブ、電力ナスタリア FC、石巻市立青葉中学校、キャプテン翼、コルハートレ女川、石巻地区広域行政事務組合消防本部、KAZUMA FC、やまもと JFC、女川町立女川第一中学校、石巻クラブ、南三陸町立志津川中学校、気仙沼市立鹿折中学校、FC 南三陸町スポーツ少年団、宮城県石巻商業高等学校、宮城県本吉響高等学校、荒浜ジュニオール FC、グレッサー石巻 FC、閉上 LEWDNESS、湊サッカースポーツ少年団(計 39 チーム)

【福島県】南相馬市立小中学校、新地町尚英中学校、エステレーラ相馬、宜間サッカースポーツ、鹿島 SC、FC フレンス、相馬東部 SS、新地町サッカースポーツ少年団、相馬サガン FC、榴葉町サッカースポーツ少年団、原町第二中学校、相馬市立磯部中学校、小高工業高等学校、いわき海星高等学校、常磐共同火力サッカークラブ、相馬サッカークラブ(計 26 チーム)

■スパイク/ダウンコート/ジャージ(上下セット)

【岩手県】大槌町役場サッカー部、大船渡中学校サッカー部、山田町役場サッカークラブ、FCサン・アルタス大船渡、大船渡三陸FCシーガル、大船渡市立赤崎中学校、大船渡市立第一中学校、大船渡三陸FCドルフィン、大船渡東高校サッカー部、大船渡マスターズ FC、大船渡三陸 FC、大船渡サッカークラブ、久慈クラブ、FC 宮古デルファイレ田老、FC 宮古フェニックス、千徳 FC、花輪サッカー少年団、宮古高等学校女子サッカー部、宮古商業高等学校サッカー部、田老一中サッカー部、宮古市立河南中学校、宮古工業高等学校、宮古高校サッカー部、宮古野武士 FC、FC 田老、FC 釜石 U-12、KRT、釜石市立甲子中学校サッカー部、釜石市立釜石中学校サッカー部、釜石市立釜石東中学校サッカー部、FC 釜石 U-15、釜石高等学校サッカー部、釜石商工高校サッカー部、新日鐵釜石、釜石市役所サッカー部、高田フットボールクラブ、高田高等学校サッカー部、FC ハリハリ高田、高田サッカークラブ、FC ハリハリ大作戦、大槌サッカークラブ・ジュニア、大槌町役場サッカー部、大槌高等学校、大槌サッカークラブ、FC 山田ヴェルエニ、山田中学校サッカー部、山田高等学校サッカー部、大槌サッカー少年団、宮古市立第一中学校、サッカー部、宮古市立宮古西中学校サッカー部(計 50 チーム)



【宮城県】石巻山下サンファン、蛇田 FC、石巻市立女子商業高等学校、宮城県水産高等学校サッカー部、石巻などでしこ、塩コフ、七ヶ浜サッカークラブ、FC 大谷スポーツ少年団、EMFC、東松島サッカースポーツ少年団矢本 FC、東松島サッカースポーツ少年団 NARUNO FC、コバルトレ女川、コバルトレ女川ユース、コバルトレ女川ジュニアユース、多賀城市役所サッカー部、鹿折フットボールクラブ、開北 FC ファンタジスタ、石巻西高校サッカー部、東松島市サッカー部、コバルトレ FC、MAX、東松島市立矢本第二中学校サッカー部、南三陸町立歌津中学校サッカー部、石巻商業高等学校サッカー部、互理町役場サッカー部、門脇サッカースポーツ少年団、七ヶ浜町立七ヶ浜中学校サッカー部、FC バリアンテ本吉、クラブレブン、やまもと JFC、石巻工業高等学校、宮城県農業高等学校、おきのサッカースポーツ少年団、S・K (七郷・蒲町) SC、七ヶ浜 SC ジュニア、気仙沼高校サッカー部、門上 Lewdness、石巻北高等学校サッカー部、石巻地区広域行政事務組合消防本部サッカー部、釜サッカースポーツ少年団、門上サッカースポーツ少年団、石巻市立青葉中学校、荒浜ジュニオール FC、石巻黒潮サッカースポーツ少年団、七郷クラブ、七ヶ浜町役場、FC カリヤ、SKSC、FC 南三陸スポーツ少年団、電力ノスルジア FC、遠見塚 SC サッカースポーツ少年団、気仙沼市立大谷中学校、玉浦サッカースポーツ少年団、アスラ松島 FC、グレッサー石巻 FC、渡波サッカースポーツ少年団、宮城県志津川高校、岩沼市役所サッカー部、鹿妻サッカースポーツ少年団、宮城県本吉響高等学校、湊サッカースポーツ少年団、宮城ゴールドサッカークラブ、邦立 DORIA、東陵高等学校サッカー部、石巻市立山下中学校サッカー部、多賀城 FC、キャプテン翼 (計 66 チーム)



がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 3) サッカー教室

活動実績

◆元日本代表派遣・サッカー教室

4/30、「岩手県フットボールセンター開場記念式典・キックオフセレモニー竣工式」主催は社団法人岩手県サッカー協会、場所は紫波郡紫波町で実施。キックオフセレモニー後、被災地の子どもたち(約 150 名)を招き、北澤豪のサッカー教室を実施。

5/15、「サッカー宮城復興へ向けたキックオフ!!」を宮城県サッカー協会の主催で宮城県立サッカー場において実施。JFA は元日本代表の加藤久、小倉隆史、平瀬智行を派遣。被災地の子どもたち(約 450 名)のサッカー教室を実施。



◆JFA 被災地特別サッカークリニック

6/14、宮城県／東松島市たかぎの森公園にて、東松島近隣地域を含むチーム及び選手(約 100 名)を対象に実施。指導は JFA ナショナルトレセンコーチ(他地域からのトレセンコーチも参加)。

6/14～15、岩手県／大船渡高校グラウンドにて、大船渡市近隣中学校部活チームを対象に実施。指導は JFA ナショナルトレセンコーチ。



◆津波復興支援サッカー教室

6/26 岩手県宮古市河南中学校(宮古市周辺中学校 4 校から 200 名を対象)(松木安太郎、平瀬智行、セルジオ越後他)

◆「震災から世界へ～福島からサッカーすることの喜びを発信しよう～」

イベント補助(サッカー教室講師／講演者の派遣)

7/2・3(須賀川市具ルースタジアム/福島空港グラウンド会議室)



◆アディダスジャパン協働サッカー教室

アディダスジャパンの協力で岩手・宮城・福島でのサッカー教室を実施。7/18、第1回目を岩手県フットボールセンターにて実施。

◆JFA・KIRIN スマイルフィールド(再掲)

元日本代表によるサッカー教室で、2011 年から 2013 年までの 3 年間の実施を想定し、岩手・宮城・福島県内の全ての小学校を対象として実施。2012 年 3 月末時点で 84 校 12,096 名が参加。



【JFA・キリン スマイルフィールド 開催実績一覧】

| 開催日 | 開催校 | 県名 | コーチ | | |
|-------|-----|--------|-------------|-----|-------------------------|
| 2011年 | 1 | 9月1日 | 仙台市立荒浜小学校 | 宮城県 | 秋田豊、名良橋晃、岩本輝雄、中西永輔、小島伸幸 |
| | 2 | 9月1日 | 仙台市立東宮城野小学校 | 宮城県 | 秋田豊、名良橋晃、岩本輝雄、中西永輔、小島伸幸 |
| | 3 | 9月14日 | 仙台市立上野山小学校 | 宮城県 | 城 彰二 |
| | 4 | 10月6日 | 仙台市立鶴巻小学校 | 宮城県 | 小島伸幸 |
| | 5 | 10月7日 | 仙台市立七北田小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 6 | 10月25日 | 仙台市立原町小学校 | 宮城県 | 秋田豊 |
| | 7 | 10月26日 | 仙台市立通町小学校 | 宮城県 | 秋田豊 |
| | 8 | 10月27日 | 遠野市立遠野北小学校 | 岩手県 | 秋田豊、相根澄、清水誠 |
| | 9 | 11月2日 | 釜石市立栗林小学校 | 岩手県 | 岩本輝雄 |
| | 10 | 11月11日 | 盛岡市立本宮小学校 | 岩手県 | 中西永輔 |
| | 11 | 11月14日 | 仙台市立榴岡小学校 | 宮城県 | 秋田豊 |
| | 12 | 11月16日 | 一関市立磐清水小学校 | 岩手県 | 長谷川健太 |
| | 13 | 11月17日 | 仙台市立郡山小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 14 | 11月18日 | 大崎市立清滝小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 15 | 11月21日 | 石巻市立広瀬小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 16 | 11月22日 | 仙台市八本松小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 17 | 11月24日 | 仙台市立東長町小学校① | 宮城県 | 城 彰二 |



2. JFA 復興支援活動 3) サッカー教室

活動実績

【JFA・キリン スマイルフィールド 開催実績一覧(前頁の続き)】

| 開催日 | 開催校 | 県名 | コーチ | | |
|-------|-----|--------|-------------------|-----|---------------|
| | 18 | 11月28日 | 仙台市立富沢小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 19 | 11月29日 | 仙台市立南小泉小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 20 | 11月30日 | 登米市立宝江小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| | 21 | 12月1日 | 矢巾町立煙山小学校 | 岩手県 | 岩本輝雄 |
| | 22 | 12月2日 | 石巻市立須江小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| | 23 | 12月5日 | 大郷町立粕川小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 24 | 12月6日 | 仙台市立袋原小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 25 | 12月7日 | 仙台市立金剛沢小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 26 | 12月8日 | 大船渡市立大船渡北小学校 | 岩手県 | 中西永輔 |
| | 27 | 12月9日 | 気仙沼市立津谷小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 28 | 12月12日 | 大船渡市立猪川小学校 | 岩手県 | 秋田豊 |
| | 29 | 12月13日 | 柴田町立槻木小学校 | 宮城県 | 秋田豊 |
| | 30 | 12月14日 | 石巻市立万石浦小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| | 31 | 12月16日 | 仙台市立南中山小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 32 | 12月19日 | 仙台市立馬場小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 33 | 12月19日 | 大船渡市立大船渡小学校 | 岩手県 | 小島伸幸 |
| | 34 | 12月20日 | 大崎市立大貫小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 35 | 12月21日 | 大船渡市立吉浜小学校 | 岩手県 | 名良橋晃 |
| | 36 | 12月21日 | 大船渡市立日頃市小学校 | 岩手県 | 中西永輔 |
| | 37 | 12月25日 | 塩竈市立浦戸第二小学校・浦戸中学校 | 宮城県 | 秋田豊 |
| 2012年 | 38 | 1月12日 | 石巻市立大谷地小学校 | 宮城県 | 中西永輔、岩清水梓 |
| | 39 | 1月13日 | 石巻市立吉浜小学校 | 宮城県 | 秋田豊、岩清水梓、中西永輔 |
| | 40 | 1月13日 | 石巻市立橋浦小学校 | 宮城県 | 秋田豊、岩清水梓、中西永輔 |
| | 41 | 1月13日 | 石巻市立相川小学校 | 宮城県 | 秋田豊、岩清水梓、中西永輔 |
| | 42 | 1月17日 | 仙台市立長町南小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| | 43 | 1月18日 | 仙台市立加茂小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| | 44 | 1月19日 | 仙台市立東仙台小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 45 | 1月19日 | 大郷町立味明小学校 | 宮城県 | 小倉隆史 |
| | 46 | 1月20日 | 仙台市立北中山小学校 | 宮城県 | 小倉隆史 |
| | 47 | 1月20日 | 名取市立増田西小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 48 | 1月24日 | 気仙沼市立小原木小学校 | 宮城県 | 名良橋晃 |
| | 49 | 1月24日 | 仙台市立連坊小路小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 50 | 1月25日 | 仙台市立坪沼小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 51 | 1月26日 | 塩竈市立月見ヶ丘小学校 | 宮城県 | 小島伸幸 |
| | 52 | 1月26日 | 大崎市立田尻小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 53 | 1月27日 | 大船渡市立盛小学校 | 岩手県 | 小村徳男 |
| | 54 | 1月31日 | 気仙沼市立月立小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| | 55 | 1月31日 | 気仙沼市立面瀬小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| | 56 | 2月2日 | 仙台市立田子小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| | 57 | 2月3日 | 柴田町立東船岡小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| | 58 | 2月3日 | 塩竈市立第三小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 59 | 2月6日 | 加美町立鹿原小学校 | 宮城県 | 名良橋晃 |
| | 60 | 2月10日 | 大郷町立大谷小学校 | 宮城県 | 小村徳男 |
| | 61 | 2月13日 | 福島市立荒井小学校 | 福島県 | 長谷川健太、福田正博 |
| | 62 | 2月14日 | 東松島市立野蒜小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| | 63 | 2月15日 | 大船渡市立赤崎小学校 | 岩手県 | 水沼貴史 |
| | 64 | 2月15日 | 大船渡市立蛸ノ浦小学校 | 岩手県 | 水沼貴史 |
| | 65 | 2月15日 | 大船渡市立末崎小学校 | 岩手県 | 長谷川健太 |

| | | | | |
|----|-------|--------------|-----|-------|
| 66 | 2月16日 | 相馬市立桜丘小学校 | 福島県 | 長谷川健太 |
| 67 | 2月17日 | 仙台市立木町通小学校 | 宮城県 | 平瀬智行 |
| 68 | 2月20日 | いわき市立郷ヶ丘小学校 | 福島県 | 中西永輔 |
| 69 | 2月21日 | 福島市立三河台小学校 | 福島県 | 田中誠 |
| 70 | 2月24日 | 川崎町立川崎小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| 71 | 2月27日 | 郡山市立朝日が丘小学校 | 福島県 | 福西崇史 |
| 72 | 2月28日 | いわき市立長倉小学校 | 福島県 | 城 彰二 |
| 73 | 2月28日 | 伊達市立五十沢小学校 | 福島県 | 中西永輔 |
| 74 | 2月29日 | いわき市立大野第一小学校 | 福島県 | 城 彰二 |
| 75 | 2月29日 | 大崎市立松山小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |
| 76 | 3月2日 | 石巻市立北村小学校 | 宮城県 | 岩本輝雄 |
| 77 | 3月5日 | 大崎市立沼部小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| 78 | 3月6日 | 塩竈市立第二小学校 | 宮城県 | 水沼貴史 |
| 79 | 3月6日 | 大郷町立大松沢小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| 80 | 3月8日 | 仙台市立桜丘小学校 | 宮城県 | 小倉隆史 |
| 81 | 3月9日 | 伊達市立大石小学校 | 福島県 | 城 彰二 |
| 82 | 3月12日 | いわき市立菊田小学校 | 福島県 | 田中誠 |
| 83 | 3月12日 | 仙台市立片平丁小学校 | 宮城県 | 長谷川健太 |
| 84 | 3月15日 | 気仙沼市立南気仙沼小学校 | 宮城県 | 中西永輔 |



2. JFA 復興支援活動 4) フェスティバル支援

活動実績



◆元代表選手等の派遣

岩手・宮城・福島で開催される各種フェスティバルを中心にその活動をサポート。

【主な支援対象フェスティバル活動実績】

| 日付 | 場 所 | 備 考 |
|-------------------|------------------------------------|---|
| キッズフェスティバル | | |
| 6/11 | 山形／米沢市松川河川敷緑地グラウンド | 原発事故の影響で、活動が制限されている福島県県北の子どもたちを山形県米沢市の協力で米沢市で開催。 |
| 7/9 | 福島／鶴沼緑地(会津坂下町) | JFA ナショナルトレセンコーチ菊池利三氏を派遣。 |
| 10/2 | 岩手／岩手県営運動公園陸上競技場 (ユニクロサッカーキッズ!) | JFA 特任コーチの加藤久氏をゲストとして派遣。沿岸部の被災地からバス2台で子どもたちを招待。 |
| 11/19 | 岩手／宮古市総合体育館シーアリーナ | ナショナルトレセンコーチ西入俊浩氏を派遣。常盤木学園高校サッカー部5名のゲスト。東北地方では初めて女子ワールドカップトロフィーを会場に展示。 |
| 女子フェスティバル | | |
| 6/19 | MFA 松島フットボールセンター | JFA レディース/ガールズサッカーフェスティバル2011。宮城 in 松島 Spring J。日本代表 OG 高倉麻子/手塚貴子氏を派遣。 |
| ファミリーフットサル | | |
| 6/26 | 宮城／マツムラフットサルコート | 元フットサル日本代表根根澄彦氏を派遣。 |
| 6/26 | 福島／会津若松市鶴ヶ城体育館 | 元フットサル日本代表藤井健太氏を派遣。 |
| 7/9 | 福島／母畑レイクサイド(石川町) | フットサル日本代表星翔太選手(スペイン1部リーググアダラハラ所属)、元バルドラール浦安荒巻太郎選手を派遣。 |
| 7/18 | 福島／磐梯熱海スポーツパーク体育館(郡山市) | 高島大輔氏(イタリアセリエA元フットサル選手)、中野歩氏(Fリーグペスカドーラ町田元フットサル選手)を派遣。 |
| 7/24 | 宮城／MFA松島フットボールセンター (スペシャルステージ) | フットサル日本代表星翔太選手(スペイン1部リーググアダラハラ所属)、元バルドラール浦安荒巻太郎選手を派遣。 |
| 9/9 | 宮城／リペラ中山 | JFA の復興支援活動の一環として大型バス2台で被災地の子どもたちを招待。高島大輔氏(フットサルのスペイン、イタリアリーグなどで活躍)を派遣。 |
| 10/29 | 茨城／日立市十王スポーツ広場体育館 | 高島大輔氏(元スペインリーグ等フットサル選手)、中野歩(ペスカドーラ町田コーチ)、ウェザフォードカ哉氏(マルバ水戸)を派遣。 |
| 12/5 | 茨城／ケーズデンキスタジアム水戸 | フットサルスペインリーグで活躍の高島大輔氏、全日本選手権で優勝のカフリング元選手の関根充氏を派遣。宮川亮子選手(元フットサル女子日本代表)、坂本昌美選手を招へい。 |
| 2/26 | 宮城／MESSEI 仙台長町 | 高島大輔氏(元スペインリーグ等フットサル選手)、中野歩(ペスカドーラ町田コーチ)を派遣。 |
| フットボールデー | | |
| 11/20 | 宮城／名取スポーツパーク | ナショナルトレセンコーチ西入俊浩氏、大部由美氏を派遣。常盤木学園高校サッカー部5名のゲスト。 |



◆JFA各種フェスティバル 被災地特別支援

JFAの補助金を受けて実施する各種フェスティバルの実施にあたり、特に沿岸部等の被災地から子どもたちを招待し、実施する場合の旅費を、岩手・宮城・福島FAを対象にJFAが既存の補助金の他に別途支援。各県上限200万円。

がんばろうニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 5)トレセン支援ほか

活動実績

◆地区トレセン活動支援

沿岸地域を中心とした活動支援で、現状、岩手県の宮古地区、釜石地区、大船渡地区の3地区で実施。9月よりJFAより指導者を派遣し、月2回程度の活動を実施。沿岸地域のける活動場所の確保のため、仮設照明をJFAが用意する他、移動のためのバスを用意。



◆JFA 特任コーチの設置

10/1より、加藤久氏をJFA特任コーチに任命し、沿岸地域を中心としたサッカー活動のサポートを行う。2011年度は、特に岩手・宮城の沿岸部に何度も足を運び、沿岸部の登録チームの被災状況の細やかなリサーチを実施した他、JFA・Jリーグ・各Jクラブと被災地との間に立ち、復興支援活動の仲介や活動企画なども実施。



◆第35回全日本少年サッカー福島県大会への協力

6/11-12、相楽亨/大塚晴弘(プロレフェリー)、青山健太/井上知大(Jリーグ担当レフェリー)を派遣。その他、26の被災チームに各5個(計130個)のサッカーボールを贈呈。



◆東北3県復興支援選抜イングランド遠征

11/21-27、東北3県の選抜16名でイングランド・ウェンブリー遠征を実施。FA(英国サッカー協会)からの提案を受け、加藤久特認コーチを団長・監督に、岩手、宮城、福島3県の協会から高校生16名を選抜し遠征。試合当日はジェレミー・ハント文化スポーツ大臣、バーンスタインFA会長、Sir ボビー・チャールトン氏から挨拶を頂き、在英日本人チーム(帝京ロンドン学園高、ロンドン・ジャパニーズFC)と2試合を行った。遠征にあたり、在英日本商工会議所、在英日本企業、の協賛。渡航費用は全日空が無償提供。ロンドンでの滞在費用は、帝京ロンドン学園の寮で、宿泊と食事を無償提供して頂いた。



◆日本高校生訪中代表団

2011年12月5日から12日の期間で、外務省の日中交流事業の一環として、高校生200名が「平成23年度日本高校生訪中代表団第3陣」として派遣された。テーマ性をもったプログラムを実施すべく、日中双方で関心の高い「サッカー



一」に焦点をあて、福島、宮城、岩手の被災3県から「サッカー交流」として100名が派遣された。北京及び山東での現地高校生とのサッカー交流を含め、見学ホームステイを通じて交流を図った。

◆復興支援サッカーフェスティバル 2012in 時の栖

2012年2月4～5日、18～19日に、復興支援サッカーフェスティバル実行委員会の主催により、静岡県の際の栖にてサッカーフェスティバルを実施。対象は、U18男子6チーム(帝京安積高校、福島県立富岡高校、仙台育英高校、岩手県立盛岡商業高校、JFAアカデミー福島αチーム・βチーム)、U15女子4チーム(福島県選抜、宮城県選抜、岩手県選抜、JFAアカデミー福島U15)、U15男子4チーム(福島県選抜、宮城県選抜、岩手県選抜、JFAアカデミー福島U15)の計14チーム。



がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 6) サッカー施設 新設・改修

活動実績

◆サッカー施設復旧にかかる財源

国際サッカー連盟(FIFA)を始めとする各種関係機関から多くの支援の申し出があった。FIFAは、Goal Projectの190万ドルに加え、450万ドルの財政支援を行うことを決定。この他、欧州サッカー連盟(UEFA)から50万ユーロやキリンググループからの1億円の支援金等も含め、6億円を上回る財源を確保することができた。これらの財源にJFAからの1億円の拠出も含め約7億円の財源をもって、以下のサッカー施設の新設・改修事業を実施する方向で検討している。

◆東北3県フットボールセンターの整備

東日本大震災で特に大きな被害を受けた岩手県、宮城県、福島県では、大会や練習を行う各種サッカー施設が大きな被害を受けた。直接的な被害を受けなかったグラウンドについても、仮設住宅が整備されてしまう等、サッカーを行う環境の多くが失われている状況にある。こうした状況を受けて、岩手、宮城、福島に3県にフットボールセンター(またはそれに準じる施設)を整備する。

[岩手県]

2012年3月現在、沿岸部を中心に候補地を検討中。

[宮城県]

○改修対象施設/MFA 松島フットボールセンター

○改修事業内容/人工芝グラウンド改修/クラブハウス等改修

MFA 松島フットボールセンターは、宮城県松島町に位置し、今回の東日本大震災で、津波の被害は免れたものの、地震により人工芝グラウンドのアスファルト基層が割れる他、クラブハウス等の建物にも被害が及んだ。既に7月末にアスファルトの基層改修を終了(約3,000万円)。2011年11月末にクラブハウスや更衣室他の改修事業に着手すると共

□MFA 松島フットボールセンター



に、2012年3月以降、体育館等の改修も行う予定(右図参照)。

[福島県]

2012年3月現在、県内の候補地を検討中。



2011年7月末にはアスファルト基層が割れて使用できなくなった人工芝グラウンドの改修工事(約3,000万円)を終えた。この他、施設全体の一層の利用性を高めることを目的に、クラブハウスや体育館の改修を11月末から行っている。
(宮城県松島郡松島町手樽大蓬沢13-1)

がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 6) サッカー施設 新設・改修

活動実績

◆Jクラブホームスタジアム／練習環境等改修

東日本大震災はJリーグに大きな影響を与えた。特に、宮城県、茨城県を拠点に活動するベガルタ仙台、水戸ホーリーホック、鹿島アントラーズのホームスタジアム他、練習環境が大きな被害を受けた。Jリーグの調べによると、ホームスタジアムの改修費も含め、被害総額は24億円を超える。スタジアムを所有する地方自治体は国の補助等を受けながら4/23のJリーグ再開に向けて施設の改修を急いだが、一部、クラブの経営に関わる施設改修事業の実施が難しくなり、JFAとして約2億円を投じ(一部FIFAの財政支援の対象)、以下の改修事業を実施している。

[ベガルタ仙台]

ホームスタジアム改修

- 対象施設／ユアテックスタジアム(仙台市所有)
- 工事内容／観客席改修
- 工事期間／2012年1月24日(工事完了)
- 工事金額／5,182,000円

練習環境改修

- 対象施設／泉パークタウン練習場
- 工事内容／人工芝グラウンド改修
- 工事期間／2011年11月22日(工事完了)
- 工事金額／59,850,000円

[水戸ホーリーホック]

練習環境改修

- 対象施設／ホーリーピッチ(水戸市占有)
- 工事内容／天然芝グラウンド改修
- 工事期間／2011年12月～2012年6月まで
- 工事金額／20,454,777円

[鹿島アントラーズ]

ホームスタジアム改修

- 対象施設／カシマサッカースタジアム(茨城県所有)
- 工事内容／館内監視カメラシステム改修・観客席改修
- 工事期間／2012年3月10日(工事完了)
- 工事金額／101,397,000円

□ユアテックスタジアム



最前列観客席の観客席の嵩上げ工事を実施予定。

□泉パークタウン練習場



人工芝グラウンドの全面改修を実施。ベガルタ仙台はクラブハウスの一部も被災し、別途改修工事を行っている。

□ホーリーピッチ



天然芝グラウンドの全面改修を実施。震災によるグラウンドの一部陥没に加え、台風15号で冠水。

□カシマサッカースタジアム



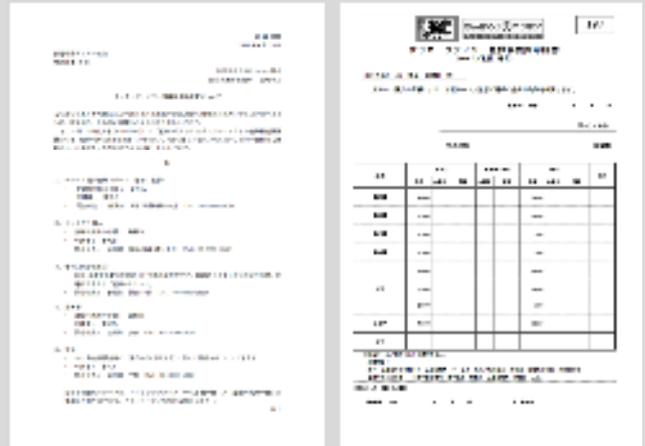
破損した館内監視カメラシステムの改修に加え、2011年当初実施予定だった観客席へのビューボックス整備を実施。

がんばろうニッポン!
サッカーファミリーのチカラをひとつに!

2. JFA 復興支援活動 7) 被災地特例(登録料免除等)

◆各種登録料等の免除

2011年4月のJFA理事会にて被災者の各種登録料、機関紙(JFAnews)購入費等の免除を決定。4/26、「サッカーファミリー登録料免除措置について」47FAに展開。



[2012年3月末/登録免除額等の総額]

| FA | 免除申請数 | | | | | 免除金額 | | 免除額計 |
|-----|-------|-----|-----|-------|-------|-------------|----------|-------------|
| | チーム | 機関誌 | 監督 | 選手 | フットサル | チ/選手 | フットサル | |
| 北海道 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥700 | ¥0 | ¥700 |
| 青森県 | 0 | 0 | 0 | 28 | 0 | ¥31,200 | ¥0 | ¥31,200 |
| 岩手県 | 52 | 52 | 24 | 1,405 | 235 | ¥1,948,800 | ¥155,500 | ¥2,104,300 |
| 宮城県 | 126 | 126 | 73 | 3,772 | 517 | ¥5,181,300 | ¥317,500 | ¥5,498,800 |
| 秋田県 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | ¥2,100 | ¥0 | ¥2,100 |
| 山形県 | 0 | 0 | 0 | 13 | 0 | ¥10,300 | ¥0 | ¥10,300 |
| 福島県 | 113 | 113 | 38 | 3,386 | 454 | ¥4,267,200 | ¥261,000 | ¥4,528,200 |
| 茨城県 | 0 | 0 | 2 | 648 | 20 | ¥780,400 | ¥10,000 | ¥790,400 |
| 群馬県 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | ¥1,400 | ¥0 | ¥1,400 |
| 埼玉県 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | ¥8,900 | ¥0 | ¥8,900 |
| 千葉県 | 0 | 0 | 0 | 10 | 0 | ¥11,200 | ¥113,000 | ¥124,200 |
| 新潟県 | 0 | 0 | 0 | 6 | 0 | ¥4,200 | ¥0 | ¥4,200 |
| 石川県 | 2 | 2 | 1 | 47 | 0 | ¥120,000 | ¥0 | ¥120,000 |
| 三重県 | 0 | 0 | 0 | 2 | 0 | ¥1,400 | ¥0 | ¥1,400 |
| 大阪府 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥1,000 | ¥0 | ¥1,000 |
| 兵庫県 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥1,000 | ¥0 | ¥1,000 |
| 広島県 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥700 | ¥0 | ¥700 |
| 高知県 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥1,000 | ¥0 | ¥1,000 |
| 大分県 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥700 | ¥0 | ¥700 |
| 宮崎県 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | ¥700 | ¥0 | ¥700 |
| 総計 | 293 | 293 | 138 | 9,338 | 1,226 | ¥12,374,200 | ¥857,000 | ¥13,231,200 |

◆復興支援検討委員会

4/14のJFA理事会にてJFAが行う復興支援策を検討する機関として「復興支援検討委員会」が発足した。「東日本大震災サッカーファミリー支援金」で集まった募金等の用途をこの検討委員会にて検討するもので、メンバーはJFA会長小倉純二、同副会長大仁邦彌、田嶋幸三、同常務理事・事務局長田中道博で構成。6/17 第1回復興支援検討委員会、7/21 JFA役員会での中間報告、9/28 第2回復興支援検討委員会、12/1 第3回復興支援検討委員会、2012年3/2 第4回復興支援検討委員会を開催。

◆復興支援プロジェクト

上記の復興支援検討委員会の他、JFA事務局内にて部署横断的なプロジェクトチームを発足。震災直後からJFAとしての復興支援活動の方針が固まるまで、随時、会議を実施。3/25 復興支援プロジェクトMTG、3/30 復興支援プロジェクトMTG、4/12 復興支援プロジェクトMTG、4/20 復興支援プロジェクトMTG、4/28 復興支援プロジェクトMTG、5/26 復興支援プロジェクトMTGを開催

◆現地ヒアリング・打合せ等

現地での主なヒアリング・打合せは、3/23-24 福島県知事他、楡葉町・広野町・富岡町打合せ、3/30 福島県知事、教育委員会、富岡高校打合せ、4/9 東北地域緊急専務理事会議、4/21 宮城FAヒアリング、4/23 東北地域緊急会長・専務理事会議、4/30 岩手FAヒアリング、5/15 宮城FAヒアリング、6/4 宮城「MFA松島フットボールセンター」被災状況現地調査、6/11 東北4県(青森・岩手・宮城・福島)専務理事会議、7/9 東北4県(青森・岩手・宮城・福島)専務理事会議、7/29 FIFAディベロップメントオフィス打合せ(KL)、8/11 東北地域会長会議、8/12 東北4県専務理事会議、8/30-9/2 FIFAディベロップメントオフィス来日/打合せ、9/17 福島FAヒアリング、9/23-25 岩手・福島現地視察、各FAでフットボールセンター候補地に関する会議、10/14-16 宮城・岩手・福島 現地視察、各FAでフットボールセンター候補地に関する会議、11/19-20 岩手現地視察、沿岸6支部代表と会議、12/11 福島FA理事会、2012年1/14-15 岩手現地視察、2/18 岩手FAフットボールセンター候補地に関する会議などがある。その他、10月からはJFA特任コーチの加藤久氏が現地での密なコミュニケーションをとっている。

◆サッカーファミリー復興支援活動 配分予算案(2ヶ年)

【収入の部】

| 項目 | 金額(千円) |
|--------------|---------|
| 支援金(寄付) | 36,921 |
| チャリティーマッチ | 66,090 |
| チャリティーオークション | 20,818 |
| (小計) | 123,829 |
| FIFA | 512,000 |
| UEFA | 51,260 |
| KIRIN | 100,000 |
| JFA 拠出金 | 100,000 |
| (合計) | 887,089 |

【支出の部】

| 項目 | 金額(千円) |
|-----------|---------|
| 競技会関連 | — |
| 物資支援 | 107,556 |
| サッカー教室 | 5,500 |
| フェスティバル支援 | 9,000 |
| トレセン支援 | 27,000 |
| その他活動費 | 44,773 |
| (小計) | 193,829 |
| 施設新設・改修 | 693,262 |
| (合計) | 887,089 |

※2012年3月末時点の計画。3年目以降の予算配分については復興状況等に鑑み、追って検討する。

[JFA 復興支援活動の主な出来事]

| 日付 | 内容 |
|----------|--|
| 3.11 | 東日本大震災 発生 |
| | 3.13 開催予定の JFA 評議員会開催中止決定 |
| | ★Jリーグ/J1・J2 第 2 節の中止決定 |
| 3.14 | ★Jリーグ/J1 第 3 節・J2 第 3・4 節の中止決定 |
| 3.15 | がんばろうニッポン！特設WEBサイト開設 |
| | ★Jリーグ/臨時実行委員会(1 回目)開催(チャリティーマッチについて検討) |
| 3.16 | 「東日本大震災 義援金口座」(日本赤十字社向け)開設 |
| 3.17 | <u>JFA 理事会</u> |
| 3.22 | ★Jリーグ/臨時実行委員会(2 回目)開催 |
| 3.24 | ★Jリーグ/Jリーグ再開の日程発表 |
| 3.23-24 | J ヴィレッジ視察、JFA アカデミー対応、支援物資搬送 |
| 3.25 | 宮城県沿岸部他、支援物資搬送 |
| 3.29 | ◆チャリティーマッチ日本代表 vs Jリーグ選抜(大阪/長居) |
| 3.30 | JFAアカデミーについて福島県知事他と対応協議 |
| 4.5-6 | 岩手県沿岸部他、支援物資搬送 |
| 4.14 | <u>JFA理事会</u> (復興支援検討委員会発足/登録料等免除決定/支援金発足) |
| 4.15 | 「サッカーファミリー復興支援金口座」開設 |
| 4.23 | ★Jリーグ/J1・J2 リーグ戦再開 |
| 4.30 | 岩手県フットボールセンター竣工/北澤豪氏サッカー教室実施 |
| 5.3 | ◆PUMA CUPチャリティーフットサルデー(東京/駒沢) |
| 5.15 | 「サッカー宮城復興へ向けたキックオフ」/小倉隆史氏他サッカー教室 |
| 5.27 | 福島県へ支援物資搬送 |
| 5.28 | 岡田武史サッカー教室・サッカーグッズ支援(宮城他)※以降複数回実施 |
| 6.1 | ◆キリンカップ 日本代表 vs ペルー代表(募金活動、被災者招待等の実施) |
| 6.4 | ◆キリンカップ ペルー代表 vs チェコ代表(募金活動、被災者招待等の実施) |
| 6.7 | ◆キリンカップ 日本代表 vs チェコ代表(募金活動、被災者招待等の実施) |
| 6.11 | キッズフェスティバル開催支援(山形)※以降、フェスティバル支援は継続実施 |
| 6.17 | ○第 1 回 復興支援検討委員会 |
| 6.18 | ◆チャリティーマッチなでしこジャパン vs なでしこリーグ選抜(東京/国立) |
| 6.21 | <u>JFA理事会</u> (復興支援活動への 1 億円の拠出を決定) |
| 7.18 | アディダスジャパン協働サッカー教室開催(岩手)※以降、継続実施 |
| 7.22-31 | FIFA女子ワールドカップ関連チャリティーオークション実施 トレセン支援開始 |
| 7.29 | FIFAの支援内容に関するFIFAディベロップメントオフィスとのMTG(KL) |
| 8.19 | ◆チャリティーマッチがんばろうニッポン！なでしこジャパン(日本女子代表)VS なでしこリーグ選抜 |
| 8.30-9.2 | FIFAディベロップメントオフィサー来日(宮城視察、支援内容打合せ他) |
| 9.28 | ○第 2 回 復興支援検討委員会 |
| 10.1 | 加藤久氏を JFA 特任コーチに任命 |
| 10.1~ | アディダスジャパン支援物資 被災チーム/被災 5 協会へ発送 |
| 10.1~ | チームユニフォームを被災 94 チームに発送 |
| 10.26 | FIFA 支援物資(サッカーボール)日本到着 |
| 11.15 | FIFA 支援物資(ウェア)日本到着 被災 3 協会へ発送開始 |
| 12.1 | ○第 3 回 復興支援検討委員会 |
| 12.10 | FIFA プラッター会長 MFA 松島フットボールセンター訪問 |
| 12.16 | UEFA 支援金贈呈式 |
| 1.14-15 | 岩手現地視察 |
| 2.18 | 岩手 FA フットボールセンター候補地に関する会議 |
| 3.2 | ○第 4 回 復興支援検討委員会 |

がんばろう  ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

絆 KIZUNA
日本サッカー協会 90周年



DREAM
夢が広がるサッカー